※ 文の要素と文型

（A）文の要素

文は単独で，あるいは複数の語が集まり，文の要素[elements of sentence]を構成する。文はこれらの要素が規則にもとづいて配列されたものである。文の要素には**主要素**（主語［S］，述語動詞［V］，目的語［O］，補語［C］），**従要素**（修飾語(句)［M］，連結語），**独立要素**（間投詞，呼びかけ語，挿入語句）がある。このうち，目的語［O］とは述語動詞［V］の動作の働きを受けるものを表す語であり，目的語となる語句は**名詞**（**および代名詞，名詞相当語句**）である。また補語［C］とは他の語を補わなくては完全な意味を表さない述語動詞とともに用いて，主語や目的語の意味を補足する語である。補語となる語は**名詞**（**および代名詞**）と**形容詞**（**および形容詞相当句**）である。

（B）動詞の性格と文型

英文の文型［sentence patterns］を説明する方法は実はさまざまなものがあるが，ここでは次のような動詞の性格を鍵として，5つの文型に分ける，いわゆる5文型の考え方を理解することとしよう。

動詞の性格(1)｛目的語[O]をとらない動詞＝自動詞[intransitive verb＝vi.]
　　目的語[O]をとる動詞＝他動詞[transitive verb＝vt.]｝

動詞の性格(2)｛補語[C]を必要としない動詞＝完全動詞[complete verb]
　　補語[C]を必要とする動詞＝不完全動詞[incomplete verb]｝

これらを組み合わせると以下のようになる。これが文型の考え方の基本である。

動詞の性格(2)／動詞の性格(1)	完全動詞（補語を必要としない）	不完全動詞（補語を必要とする）
自動詞（目的語をとらない）	S＋V →第1文型	S＋V＋C →第2文型
他動詞（目的語をとる）	S＋V＋O →第3文型 S＋V＋IO＋DO →第4文型	S＋V＋O＋C →第5文型

※IO＝間接目的語
　DO＝直接目的語

目　次

第Ⅰ部　　文構造の把握

§ 1　主語の発見―文の主人公を探せ …… 8
§ 2　動詞と文構造―文の形は動詞が決める …… 10
§ 3　準動詞(1)―不定詞という名のマルチプレーヤー …… 12
§ 4　準動詞(2)―動名詞というかたちの名詞 …… 14
§ 5　準動詞(3)―分詞が運ぶさまざまな意味 …… 16
§ 6　準動詞(4)―準動詞完全マスター編 …… 18
§ 7　関係詞(1)―名詞を修飾する文中の文 …… 20
§ 8　関係詞(2)―消えた先行詞 …… 22
§ 9　名詞節―名詞の働きをする文中の文 …… 24
§ 10　副詞節―副詞の働きをする文中の文 …… 26
§ 11　it を含む構文―指示する it と指示しない it …… 28
§ 12　比較―「比べ方」にもいろいろある …… 30
§ 13　仮定法―現実の裏返しの世界 …… 32
§ 14　否定―何を打ち消すのか …… 34
§ 15　代用表現―もとの言葉を探せ …… 36
§ 16　相関構文―呼び合う「語」と「語」 …… 38
§ 17　名詞構文―「名詞」の中に隠された文 …… 40
§ 18　共通関係―何と何が並んでいるの？ …… 42
§ 19　省略―消えた言葉を突きとめる …… 44
§ 20　倒置―逆立ちをしてしまった文 …… 46

第Ⅱ部　　文脈の把握

A　論旨展開のパターン

§ 1　主題―展開―結論 …… 50
§ 2　起―承―転―結 …… 52
§ 3　対比による展開 …… 54

B　テーマ別読解研究

§ 1　『言語』 …… 58
§ 2　『文化』 …… 62
§ 3　『環境』 …… 65

第Ⅰ部 文構造の把握

§1 主語の発見―文の主人公を探せ

1

解答▷ある有名な実験の中の一環として，あるアイスクリームを広告する一連のすばやい瞬間的な映像が，映画の最中に挿入された。

語句▷a series of ～「一連の～」 **flash**「瞬間的な映像」 **advertise**「～の広告をする」 **insert**「～を挿入する」

設問解説

POINT 1

主語の前に〈前置詞＋名詞〉

確認 ①主語になりうるのは「名詞（または名詞相当語句）」だけである。
②〈前置詞＋名詞〉は名詞の働きをしないので主語にはならない。

note 〈前置詞＋名詞〉は主に修飾語の働きをする。(1)名詞の修飾（形容詞句）か(2)動詞，形容詞，副詞，文全体の修飾（副詞句）である。

〈**As** part 〈of a famous experiment〉〉 [**a series of rapid flashes** 〈**advertising an ice cream**〉] were inserted 〈in the middle of a film〉.
(S) (V) (O) (V)

▶ As part of ... experiment は〈前置詞 as「～として」＋名詞〉なので，主語にはなれない。後ろの a series of ... cream「アイスクリームを広告する一連のすばやい瞬間的映像」が主語。advertising ... は現在分詞で，直前の名詞を修飾している。
（注）なお，a series of ＋複数名詞は原則として単数扱いだが，本文のように複数扱いも可能。

～第Ⅱ部　文脈の把握～

A　論旨展開のパターン

§1　主題-展開-結論

解 答

アメリカの教育の基本目標は，すべての子供の能力を最大限に伸ばし，各人に市民意識を持たせることにある。そのため，学校は，あらゆる人を対象に驚くほど多様な科目を設けており，また，国の宗教がなく国民の出身も多様なアメリカにあって，国をまとめ，移民を社会に同化させるのに，伝統的に重要な役割を果たしている。(149字)

語 句

―第1段落―

either A or B「A か B かいずれか」 **college**「大学〈大学院のない一般教養中心の大学や2年制の大学，単科大学，総合大学の各学部，専門学校などを指す〉」 **university**「大学〈ふつう大学院や専門分野の学部を持つ総合大学を指す〉」 **up to ～**「～まで(に)」 **require O to *do***「O に～するよう求める」 **enormous**「巨大な」 **widely**「幅広く」 **different**「(複数名詞の前で) 多様な」 **outsider**「部外者，よそ者」

―第2段落―

compared with ～「～と比較して」 **majority**「大多数」 **lie in ～**「～にある」 **be intended for ～**「～のためのものとされて」 **be expected to *do***「～すると期待されて，～するものと思われて」 **meet**「(必要・要求など)を満たす」 **need**「必要としているもの」 **regardless of ～**「～がどうであるかにかかわらず」 **mean that ～**「～を意味する，(結果として)～ということになる」 **tax-supported**「税金で維持されている」 **public school**「公立学校」 **such A as B**「たとえば B などのような A」 **sewing**「裁縫」 **along with ～**「～とともに」 **traditional**「伝統的な」 **academic**「(実技・専門科目に対して) 一般教養の」 **selection**「品ぞろえ」 **depend on ～**「～次第で」 **goal**「目標」 **underlying**「基礎となる，基本的な」 **develop**「～を育てる」 **to the utmost of ～**「～の最大限にまで」 **a sense of ～**「～に対する感覚〔観念〕」 **civic**「市民の」 **community**「地域社会(の)」 **consciousness**「意識」

―第3段落―

national「国家の，国民の」 **background**「素性，経歴」 **origin**「生まれ，素性，家柄」 **play a ～ role**「～な役割を果たす」 **unity**「統一」 **Americanize**「～を